



洛北高校附属中通信No.14
平成29年度夏号（7月14日発行）

「かたつむり ゆるゆる登る 富士の山」

首席副校長 柳澤 彰紀

平成29年度がスタートし、はや100日を過ぎ、暑さが厳しさを増す季節になりました。保護者の皆様の本校教育活動への御理解に感謝申し上げますとともに、今後とも御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、冒頭の句は、今から20年以上も前、私が中学時代の恩師から頂戴した年賀状に書いてあったものです。その時は知らなかったのですが、現在調べてみると、小林一茶の句に「かたつむり そろそろ登れ 富士の山」があることがわかりました。「そろそろ」とは「動作が静かにゆっくりと行われるさま。そろり。」（大辞泉）とあります。恩師は、一茶の句を参考に年賀状を書かれたのかもしれませんが。

私が未だにこの句を覚えているのは、「かたつむり」と「富士の山」のスケールが極めて対照的であり、「ゆるゆる」が表す動作が視覚にとらえられたことにあります。それにも増して、人の生き方や学び方と関連付けて句をとらえた時、気付かされたことが余りに大きかった印象が残っています。人には、チャレンジすることを厭うことから達成目標を低くしてしまう弱さはないでしょうか。一方で、大きな成果を求めるあまり、中途のプロセスを軽視あるいは曖昧にすることはないでしょうか。これには、世間から評価されたいという焦りや苛立ちが関係しているかもしれません。学びにおいては、「答え」が見つかりそうな「問い」にだけ挑戦してしまう傾向はないでしょうか。

時には、すぐには届きそうにはないスケールの大きな目標（富士の山）を目指してみるのもよいのではないのでしょうか。その達成に向けては、焦らず、それでいて怠らず「ゆるゆる」と着実に取り組んでみるという考え方はいかがでしょうか。結果として、目標にたどり着けないことがあっても（実のところ、富士山の頂上にたどり着けたかたつむりはいないかも）、それを許容できる余裕が私たちにはあってよいのかもしれませんが。

現在の私は、恩師ほど人間的に成熟しているわけでもなく、句の読み取りに至らぬ点が多いのも事実です。それでも、「かたつむり」は夏の季語、夏休みなどの時間的余裕の中で、私たちの生き方や学び方を考えるきっかけの1つになればと思い、学校便りで使わせていただきました。

最後になりましたが、生徒の皆さん、保護者の皆様、充実したよい夏をお過ごしください。

学年の様子

【中1】 下鴨神社訪問



学校の身近にある世界遺産を実際に目にし、話を聞くことで、有意義な学習となりました。

「生命の神秘に挑む」



今年から、洛北サイエンスでは学年全員が同じ校外学習を行い、共通体験を大切にします。

【中2】 宿泊研修



カッター訓練やキャンプファイヤー、漁港見学や天橋立周辺の散策等々、多様な活動をしました。

「すくーとん」製作



スクール用多機能座布団の製作は、防災教育の視点からの学習でもあります。

【中3】 能楽おもしろ講座



河村能舞台での土曜学習は内容が充実しており、生徒も保護者の方も大満足でした。

進路講演会



未来に必要なちからについて考え、大学入試改革動向を知るよい機会になりました。

教育情報

京都の歴史・文化を学ぶ新たな交流拠点が誕生しました。それは、本校の近くにある「京都府立京都学・歴史彩館」。京都に関する数多くの資料の収集や保存、公開に加え、京都の歴史や文化に関する研究支援や学習・交流の機能を併せもつ施設です。建物の造りには随所に工夫が見られ、所蔵のアーカイブ画像の閲覧もできます。中学・高校とともに、教育活動の一環として館を訪問させていただきました。現在、更なる連携に向け協議が進んでいます。



防災関連情報

内閣府は、水害および土砂災害から人的被害や孤立者を減らすためには、市町村は「空振りを恐れず、躊躇なく避難勧告等を発令する」ことが基本、としています。また、これまでの「避難準備情報」の名称は、高齢者等が避難を開始する段階であるということを明確にするため、「避難準備・高齢者等避難開始」に名称変更されました。対象者ごとに取るべき避難行動が分かるようにすることがねらいとなっています。市町村が作成しているハザードマップや地域防災計画を事前に見ておくことも推奨しています。

《7月～9月の目標》



基本的な生活習慣を整え、暑さを乗り切ろう！

主な行事予定

【7月】

19日(水) 洛サ数学発表会(中2)
20日(木) 夏季休業前授業終了日
24日(月)～28日(金) 夏期スクール
29日(土) オープンキャンパス

【8月】

10日(木)～16日(水) 業務休止日
19日(土) 科学の甲子園ジュニア 京都府予選会
25日(金) 授業再開日 日本舞踊体験(中2)
26日(土) 授業日
29日(火)～9月5日(火) 文化祭準備(平日午後)

【9月】

1日(金) 日本舞踊体験(中2)
3日(日) ※サイエンス講演会(本校)
6日(水)・7日(木) 文化祭(中学生の発表は6日午後)
9日(土) 土曜学習
12日(火) 朝礼
20日(水) 洛北サイエンス特別講義(中1)
25日(月)～29日(金) 三者面談(平日午後)
27日(水) 家庭科特別授業(中1)
28日(木) 幼稚園訪問(3A) プログラミング授業(3B技術)は、 8/31、9/21、9/28に実施します。 (計5時間の計画)

※サイエンス講演会(本校)

講師：梶田隆章氏

2015年ノーベル物理学賞受賞
東京大学宇宙線研究所長

演題「地底から探る宇宙の秘密」

中学生は希望者全員が聴講できます。

生徒指導部より

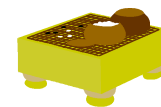
愛娘と散歩している道ばたの畑に今年もグラジオラスの花が咲こうとしています。その花芽を見つめながら、自然の不思議さに思いを馳せます。グラジオラスにはグラジオラスの花が咲き、水仙には水仙、チューリップにはチューリップの花が咲きます。そのことを私達は何の不思議も感じないですが、教育となるとそうはいきませんが、「どの子どもにも無限の可能性がある」と信じていますが、グラジオラスが水仙の花をつけたり、チューリップの花をつけたりしないように、子ども達にもそれぞれ固有の花があるはず。その子らしい花を咲かせることや、その子らしいしっかりした実をつけることを、「無限の可能性を持つ」というのだと思います。

しかしながら、ややもすると、私たちは、早春に咲く黄色い水仙が一番いいと思ったり、次に一斉に咲くチューリップの花を美しいとあこがれたりしてはいないでしょうか。グラジオラスは、一時、葉だけの時間を過ごします。炎天下の中、それで耐えます。でも、花芽を一度持つと、下の花芽から上の花芽に向かって次々と見事な花を咲かせます。淡いピンクの色や鮮やかなオレンジや黄色、赤など色とりどりの色が私たちに元気を与えてくれます。

それぞれの花がそれぞれの花であるように、子ども達が自分らしく精一杯生きることができるよう、温かい風を送ったり、時には厳しい試練の冷風を送ったりすることが、私たち大人の役割であり、私たちができる最高の支援ではないかと思うのです。逞しく生きる力を備えた子ども達を育てるということは、そういうことだと信じながら、今日も授業に部活動に、元気いっぱいの子どもの笑顔を見つめています。



祝・全国大会出場！



第14回文部科学大臣杯
小・中学校囲碁団体戦
※本校は学年混成でチームを構成

第38回文部科学大臣杯
少年少女囲碁大会
※昨年優勝の中3男子が出場

第14回全国中学生弓道大会
※女子団体の部、男子個人の部で出場

《市夏季大会のお知らせ》 底力を見せよ!“洛北附属”!

男子テニス部	7/16、7/17、7/22～7/25 同志社中、京都国際中(7/16、7/22の2日)
女子テニス部	7/16、7/17、7/22～7/25 同志社女子中、京都国際中(7/17、7/22の2日)
剣道部	7/22、7/23 武道センター
女子バレーボール部	7/22 二条中
男子バスケットボール部	7/17 久世中 7/21、7/22、7/24 ハンナリーズアリーナ
水泳部	7/16 京都アクアリーナ

具体的な大会日程や会場については、各部で必ず御確認ください。

《その他の大会等》

弓道部	7/30 近畿弓道大会：大阪城弓道場
囲碁・将棋部	7/25 第14回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦 西日本大会：ホテルモントレ大阪
吹奏楽部	8/2 京都府吹奏楽コンクール：京都コンサートホール

《“洛北”ゆかりの地》



京都府庁の位置は●。
〔国土地理院「京都東北」部の地図を使用。〕



北オープンスペースに展示してある京都府中学校(1873～1885年)の模型

日本最古の中学校は、1873(明治6)年、幕末に京都守護職の上屋敷があった要地、現在の京都府庁がある位置に移転しました。この地の京都府中学校は、中央に洋風建築の正堂(学務局)を置き、その周囲に4つの教室棟と池が設けられました。その平面図は、府庁旧館の正面入口に掲示されています。

【参考】

1885年に京都府中学校は寺町丸太町上ルに移転し、そのあと京都府庁が元中学校の建物を使用します。正堂を正庁に、教室棟を事務室に充てましたが、手狭であったようです。